ヤングケアラーへの支援

○事例概要

・富山県では、県民のヤングケアラーに関する理解・認知度を高め、本人の自覚や、周囲の大人の気づきを促すことを目的とした事業を行っています。



○事業の取組み内容

① ヤングケアラーについての理解を深め、支援のあり方等について学ぶ関係機関職員研修会を２回開催し、教育、福祉、こども・子育て支援団体、行政等の分野から計114名が参加しました。また、参加者はグループワークを通して課題や普段の悩みを共有し、参加者同士がつながる機会になりました。

② 市町村や民間団体などが主催する研修会の講師謝金を支援し、ヤングケアラーの理解促進を目的とした研修会の積極的な開催を促した結果、計190名が研修会に参加しました。

③ 関係機関によるネットワークや連携体制を構築するとともに、支援のあり方や方向性を検討するヤングケアラー支援ネットワーク会議を開催しました。県が取り組むヤングケアラー支援について各支援機関の連携の重要性、今後の検討課題について貴重なご意見をいただきました。